

日々の田高（1年生・人間と社会・夏の発見発表会）

令和7年9月3日（水）の5限に、1年生の教科「人間と社会」の「夏の発見発表会」が行われました。生徒240名が12教室に分かれ、タブレットを活用してプロジェクターに自分のレポートを映しながら、一人1分間の発表に挑みました。

発表のテーマは、夏休みに取り組んだ「ホンモノ体験レポート」と「トコトン調べるレポート」です。大久保で多国籍な方々と触れ合うフィールドワークに参加した生徒や、古代DNAに関する講座を受講した生徒、夏に行われた学校見学会のボランティアをした生徒は、そこで感じたことや学んだことを自分の言葉で語りました。また、魚の解剖実験を通して魚の心臓の大きさに驚きを覚えた生徒や、身近なブランドロゴの由来について徹底的に調べた生徒もあり、多彩な発表内容が教室を彩りました。

発表中は、聞く側の生徒たちがリフレクションシートに質問やアドバイス、感想を書き込み、発表者に直接手渡す場面も見られました。こうした双方向のコミュニケーションにより、表現力や探究心がさらに育まれ、相互理解が深まります。

本校では、単なる知識の習得にとどまらず、実際に体験し、調べ、発表することで、自分の考えを深める学びを大切にしています。多人数の前で発表する経験は自信となり、将来に向けた貴重な力となることでしょう。

